



オメガアクロフレックス施工マニュアル

【防火認定番号（30分）】

枠組：PC030BE-2308（木質系ボード表面）

軸組：PC030BE-2312（木質系ボード表面）

軸組（付加断熱仕様）：PC030BE-3615

この施工要領書は、標準的な施工方法を説明しています

標準工程

オメガ アクロフレックス

通気胴縁取付

土台水切り取付

下地サイディング張り

シーリング施工

スタイログループ施工

プライマー施工

仕上げ材施工

LTコート施工

※LTコートはオプション施工になります。

オメガ アクロティーク

通気胴縁取付

土台水切り取付

下地サイディング張り

シーリング施工

スタイログループ施工

プライマー施工

仕上げ材施工

アクロティーク施工

LTコート施工

下地サイディング施工手順-①

下地サイディング張り上がり状態



【下地サイディング】

セラディール：14mm×455mm×3030mm 梨地無塗装板

※注意点

オメガ施工の場合は、躯体の動きを緩和するため構造用面材を必ず使用してください。

①最下段サイディング下端の突起を切り落とす

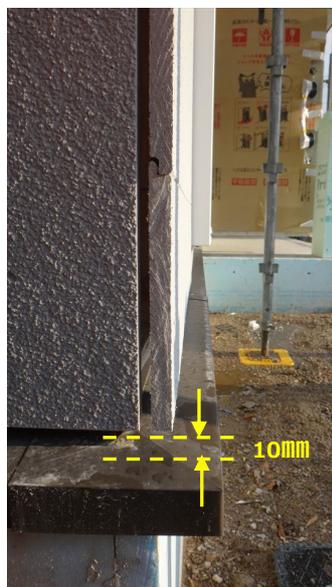


・サイディングを張り付ける前に事前に切り落として下さい。

【切り落とす目的】

小口面を平らにすることで小口面全体にオメガを塗布できます。

②最下段サイディング下端と水切りの隙間を確保する



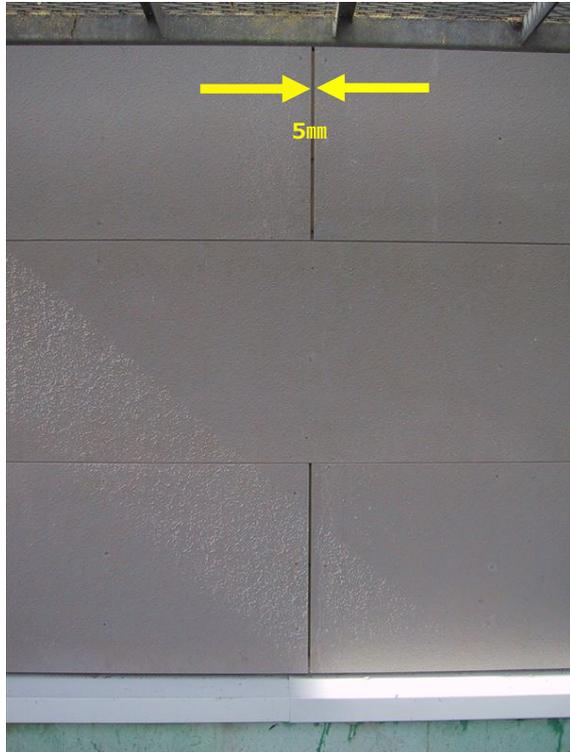
・最下段サイディング下端と水切り材の隙間は**10mm**として下さい。

【隙間を確保する目的】

- ①毛細管現象の防止
- ②吸気口の確保
- ③結露水の排出
- ④躯体の荷重による変異吸収

下地サイディング施工手順-②

③上下縦目地が一致しないよう乱張りとする



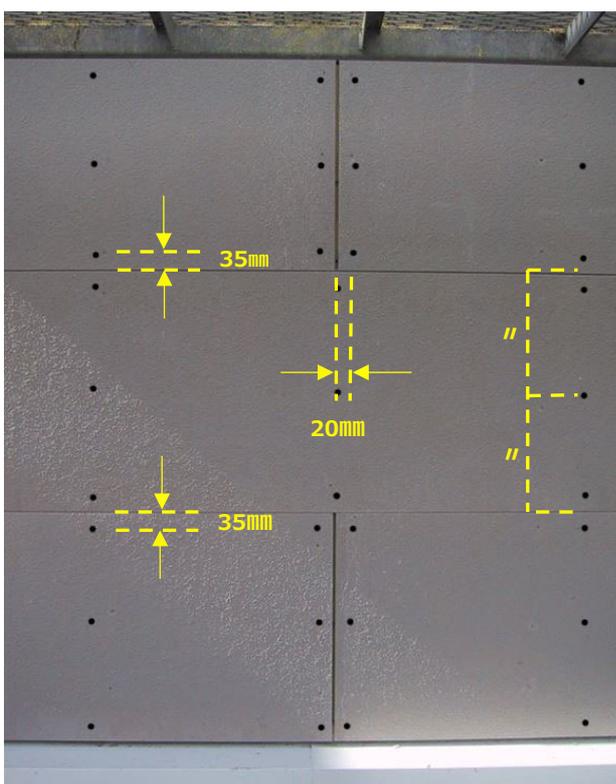
・縦目地ジョイント部には貫材（18mm×105mm）
または胴縁（18mm×45mm）の2枚使いとして下さい。

・縦目地は目透かし張り、目地幅は5mmとして下さい。

※横目地は合じゃくりを合わせ隙間なく張り付けて下さい。



④釘打ちについて



・原則ビス留めは不可として下さい。

・釘は**ステンレス リング釘40 (φ2.3×L40mm)** を
使用して下さい。

・1段（455mm）当り3本の釘留めとして下さい。

・横方向の釘留め（406mm若しくは455mm間隔）は
全ての縦胴縁に打付けて下さい。

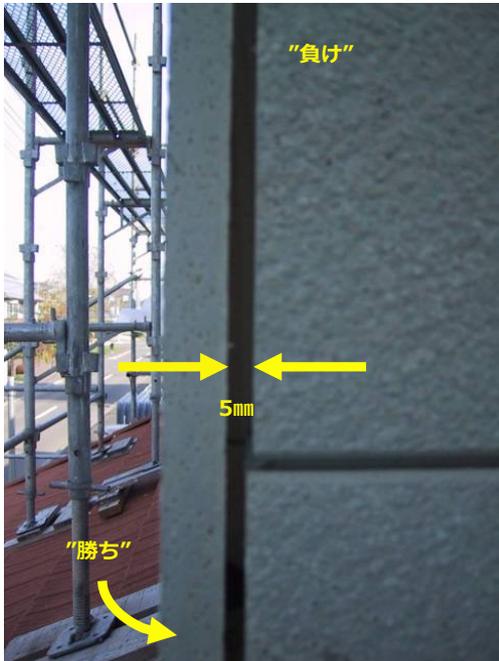
・釘打付け位置については左画像の寸法として下さい。

・最下段一番下の釘打ちについては
予め錐先等で下穴を開けてから釘打ちして下さい。

※注意点
セラティールはサイディング専用ガンで固定しないでください。

下地サイディング施工手順-③

⑤ 出隅部納まり



- ・サイディングの一方を“勝ち”、他方を“負け”にし張り付けして下さい。
- ・“負け”のサイディングを“勝ち”のサイディングから**5mm**の目透かし張りとして下さい。
- ・出隅部（“勝ち”、“負け”共）には貫材（18mm×105mm）を使用して下さい。

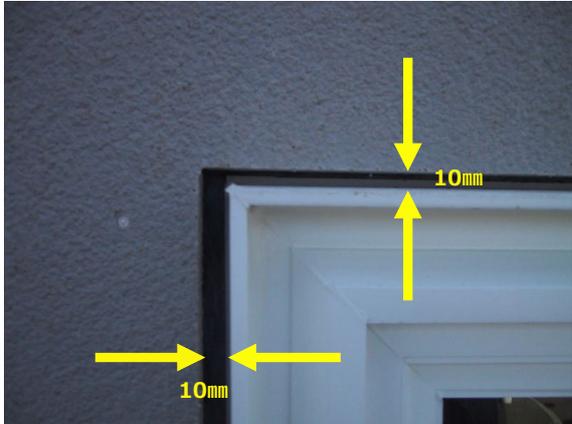
⑥ 入隅部納まり



- ・サイディングの一方を“勝ち”、他方を“負け”にし張り付けして下さい。
- ・“勝ち”と“負け”のサイディングは、**隙間を空けず**に突き付け張りとして下さい。
- ・入隅部（“勝ち”、“負け”共）には貫材（18mm×105mm）を使用して下さい。

下地サイディング施工手順-④

⑦ 開口部納まり-1



- ・ 開口部廻りは掛け張りを基本として下さい。
- ・ 開口部廻りとサイディングとの隙間は**10mm程度**として下さい。

⑧ 開口部納まり-2



- ・ 左画像のような一辺の幅が**100mm未満**の場合は掛け張りせず目地を設けてください。
※オメガ仕上げではなくコーキング仕上げをしてください。
- ・ 釘打ち付けは予め錐先等で下穴を空けてから縦方向に1本若しくは2本打ち付けて下さい。

※注意点

- ①：掃き出し窓・テラスドア・勝手口と水切りの間に入る小片のサイディングは1枚ものとして下さい
- ②：小片部分のセラディールは専用釘ではなく、ビスで固定して下さい

⑨ 軒天部納まり



- ・ 軒天ボードが先行後、サイディングと軒天ボードは**隙間を空けず**に突き付け張りとして下さい。

シーリング施工手順-① ※先コーキングの場合

施工上の注意

- ①オメガ施工前にシーリング施工をして下さい。
- ②外気温 5℃以上、晴天の日に施工をして下さい。
- ③前日が雨や雪の場合は、接着面が十分に乾燥している状態を確認して下さい。
- ④シーリングが硬化しないうちに振動や衝撃を与えないで下さい。
- ⑤施工箇所は開口部廻りと軒先廻りのみとし、**板間、出隅、入隅には施工しない**で下さい。
- ⑥**先コーキングの場合はコーキングの上にオメガを仕上げますので、コーキングの伸縮によりオメガ仕上材にクラックが入る可能性があります。**

①マスキングテープ貼り



- ・目地の両側に沿ってマスキング（養生）テープを貼って下さい。

②プライマー塗布



- ・サイディング切断時の切り粉は十分に除去して下さい。
- ・接着面のゴミ、油分、水分はハケや布で除去して下さい。
- ・サイディング被着面にムラなく塗布して下さい。
- ・乾燥時間は30分以上として下さい。

シーリング施工手順-② ※先コーキングの場合

③ バックアップ材の装てん



- ・ 開口部廻り等でバックアップ材を使用する場合は、シーリング目地深さを10mm程度確保して下さい。

※注意点

- ①： 開口部のオメガの施工はサイディングの端までとして下さい。
(サッシとセラディーの10mmの隙間にはオメガの材料を埋め込まない)
- ②： オメガ施工後（乾燥後）、最後にコーキングで埋めます。
(オメガの色と近似色のコーキングを使います)

④ 開口部廻りシーリングの充填



- ・ シーリング材は**一液ウレタン弾性シーリング材**を使用して下さい。
※メーカー名:オート化学工業
※商品名:オートンサイディングシーラント 又は 同等品
- ・ 目地幅に合わせたノズルで気泡、打残しがないよう隙間なく隅々まで盛り上げて下さい。
- ・ ヘラなどを使い、シーリング材を押し込むようにしてサイディング表面に合わせて平滑にして下さい。
- ・ シーリング材が硬化しない間にマスキングテープを棒切れ板などに巻き付けながら剥がして下さい。

⑤ 軒天境目シーリングの充填



- ・ 軒天材とサイディングの取り合いは付き付け張りとなっているので**三角シーリング**として下さい。
- ・ 指の腹などを使い、シーリング材を押し込むようにして下さい。
- ・ シーリング材が硬化しない間にマスキングテープを棒切れ板などに巻き付けながら剥がして下さい。

オメガ施工手順－①

施工上の注意点

- ①気温**4°C**以下になる環境での材料の保管は避けて下さい。
- ②施工をする際、周囲に材料が飛散する可能性があるため、養生ネット等で飛散防止措置をして下さい。
- ③通常の養生時間（24時間）の間に、気温**4°C以下**になる環境での施工はしないで下さい。
- ④気温が10°C以下になる環境での施工は、養生時間を**48時間**として下さい。
- ⑤カラーサンプルと実際の壁の仕上がりの色とは、イメージが異なる場合があるので、確認しながら進めて下さい。
- ⑥施工中、養生中に雨や雪の天候の場合、施工はしないで下さい。
- ⑦天端等の雨や雪がたまる可能性のある部分への施工はしないで下さい。

オメガ資材現場搬入状態



- ・数種のペール缶（バケツ）が複数現場納入されますのでペール缶に表示された材料名を確認の上、開封して下さい。

【材料規格】

- | | | |
|------------------|------------|--------------|
| ・スタイログルー | 入数:17㎡/缶 | 重量:約30kg/缶 |
| ・スタンダードメッシュ | 入数:35㎡/本 | 重量:約16kg/本 |
| ・プライマー | 入数:100㎡/缶 | 重量:約15kg/缶 |
| ・アクロチョイス | 入数:8~13㎡/缶 | 重量:約15kg/缶 |
| ・骨材 | | |
| ①セミスーム用 | 入数:8~13㎡/缶 | 重量:約14.8kg/缶 |
| ②マリブ16用 | 入数:8~13㎡/缶 | 重量:約14.8kg/缶 |
| ③サークルテック用 | 入数:8~13㎡/缶 | 重量:約14.8kg/缶 |
| ・カラーボトル | | |
| ・アクロティークベース | 入数:110㎡/缶 | 重量:約20kg/缶 |
| ・アクロティーク専用カラーボトル | | |

事前準備



- ・ブラシ、コテ、コテ板、ローラー、柄杓、攪拌機、養生テープ、バケツ、セメントを用意して下さい。



- ・水切り、サッシ廻りの養生をして下さい。シーリングの表面はオメガを被せませんので養生しないで下さい。

オメガ施工手順-②

① スタイログルーにセメントを混ぜ攪拌する



スタイログルー

入数:約17㎡/缶
重量:約30kg/缶

- ・セメントはポルトランドセメントを使用して下さい。
- ・スタイログルー**1缶**に対してセメント**1袋/25kg**を混ぜて下さい。
- ・水は適宜入れ、よく攪拌して下さい。



② スタイログルー施工



- ・壁全体の塗付けの前に、サイディング縦目地、出隅部分の5mmの隙間にスタイログルーを充填して下さい。
- ・外壁に飾り部材を取付る際、縦目地が飾り部材によって隠れる場合は、飾り部材取付け前にスタイログルーを予め充填しておいて下さい。



③ スタンダードメッシュ



スタンダードメッシュ
入数:約35㎡/本
重量:約16kg/本



- ・スタンダードメッシュは雨に当たらないよう保管して下さい。濡れているとスタイログルーの付着が悪くなります。
- ・最下段サイディング下端から5mm程度離れたところから張り始めて下さい。
- ・外壁全面に張り付けて下さい。
- ・メッシュの継ぎ目は上下左右共**100mm以上**重ねて下さい。
- ・開口部廻りはサッシより5mm程度離して下さい。
- ・出隅、入隅部分をまたぐように張り付けて下さい。
- ・メッシュは縦張り、横張りどちらでも良いです。
- ・たわみ、しわのないように張り付けて下さい。
- ・スタイログルー塗付けと同時に張り付けて下さい。
- ・**スタイログルーとスタイログルーとの間に挟み込んで下さい。**
- ・スタイログルーに完全に隠れるように張り付けて下さい。

オメガ施工手順-③

④スタイログルー・スタンダードメッシュ施工



- ・金ゴテを使用し、スタイログルーを1mm厚程度塗り付けて下さい。
- ・塗り付けたスタイログルーの表面にスタンダードメッシュを重ねて下さい。
- ・スタンダードメッシュの上に、再度スタイログルーを塗り付けて下さい。
- ・スタイログルーの総厚さは、**3mm程度**として下さい。
塗厚が足りないとサイディングの不陸を吸収できないことがあります。

⑤プライマー・カラーボトル



プライマー

入数:約100㎡/缶
重量:約15kg/缶

× 1缶 + × 2本



カラーボトル

⑥プライマー施工



- ・スタイログルー施工後24時間以降の施工とする
- ・強風時はプライマーが飛散する可能性がありますので作業を中止して下さい。
- ・プライマー**1缶**に対して、カラーボトル**2本**を入れてよく攪拌して下さい。
- ・カラーボトルは1滴も残さず全て使用して下さい。
(ボトルに水を入れ強く振ると残らず取り出すことができます)
- ・プライマーの塗り付けには、ローラー、刷毛を使用して下さい。
- ・スタイログルーの色が見えなくなるまで塗り付けて下さい。
多少ムラがあっても問題ありません。

オメガ施工手順-④

⑦アクロチョイス（仕上げ材）



レギュラーベース

入数:約8~13㎡/缶
重量:約15kg/缶



ティントベース (TB)

入数:約8~13㎡/缶
重量:約15kg/缶



カラーボトル

- ・カタログ記載のカラーボトルNOからレギュラーベースかティントベースを選択してください。
- ・色決めの際は、必ず**カラーサンプル**にてお選び下さい。
カタログ等で選ばれた色と現場で仕上がった色ではイメージが違うことがありますのでご注意ください。

⑧アクロチョイスにカラーボトルを入れる



アクロチョイスパール缶
にカラーボトルを入れる



攪拌機でカラーボトルの
液体を攪拌する



色が均一になるまで攪拌する



× 1缶 + × 1本



- ・アクロチョイス レギュラーベース（ティントベース）**1缶**に対しカラーボトル**1本**を入れて下さい。
- ・カラーボトルは1滴も残さず全て使用して下さい。（ボトルに水を入れ強く振ると残らず取出すことができます）
- ・攪拌機にてカラーボトルの液体を攪拌して下さい。
- ・色が均一になるまで攪拌して下さい。
- ・**骨材を入れる前にカラーボトルを入れて下さい。**
骨材を入れてからカラーボトルを入れると混合しづらくなります

オメガ施工手順-⑤

⑨骨材（仕上げ材）

・骨材の大きさ（直径）により、仕上げの表情が変わります。

セミスーム骨材：直径1mm程度、マリブ16骨材：直径2mm程度、サークルテックコース骨材：直径3mm程度



セミスーム用骨材

入数:約8~13m/缶
重量:約14.8kg/缶



マリブ16用骨材

入数:約8~13m/缶
重量:約14.8kg/缶



サークルテックコース用骨材

入数:約8~13m/缶
重量:約14.8kg/缶



⑩アクロチョイスに骨材を入れる

・アクロチョイス**1缶**に対し骨材**1袋**を入れてよく攪拌して下さい。



・カラーボトルを混ぜたアクロチョイスのペール缶に骨材を溢れないように入れて下さい。

・一度に骨材を全て入れると溢れ出る可能性がありますので、**1袋の3/4程度**入れて攪拌して下さい。



・残りの骨材を溢れないように入れ、骨材は袋に残さず最後まで入れて下さい。

・骨材が満遍なく混ざるように攪拌して下さい。

オメガ施工手順-⑥

⑪アクロチョイス（仕上げ）



- ・壁全体同時に塗り付け作業を行う必要があります。
各足場に2人ずつの作業員を配置する（6人～8人必要）
- ・塗り付け作業は2人1組で行ってください。
1人が粗塗り、もう一人が仕上げ塗り（フローティング作業）
- ※フローティング作業とは：
硬化したプライマー面とコテ面との間で骨材を転がす作業です。
- ・仕上げ材の塗厚は骨材の大きさとなります。
（フローティング作業により厚みが統一されます）
 - ・セミスムース 仕上げ厚：1mm程度
 - ・マリブ16 仕上げ厚：2mm程度
 - ・サークルテックコース 仕上げ厚：3mm程度

【鏝（コテ）について】

| 仕上げ材種類 | 粗塗り | 仕上げ塗り |
|-------------|-----|-----------------|
| ・セミスムース | 金ゴテ | 金ゴテ |
| ・マリブ16 | 金ゴテ | 金ゴテ |
| ・サークルテックコース | 金ゴテ | プラスチックゴテ |

シーリング施工手順-① ※後コーキングの場合

施工上の注意

- ①オメガ施工後にシーリング施工をして下さい。
- ②外気温 5℃以上、晴天の日に施工をして下さい。
- ③前日が雨や雪の場合は、接着面が十分に乾燥している状態を確認して下さい。
- ④シーリングが硬化しないうちに振動や衝撃を与えないで下さい。
- ⑤施工箇所は開口部廻りと軒先廻りのみとし、**板間、出隅、入隅には施工しない**で下さい。

①マスキングテープ貼り



- ・目地の両側に沿ってマスキング（養生）テープを貼って下さい。

②プライマー塗布



- ・サイディング切断時の切り粉は十分に除去して下さい。
- ・接着面のゴミ、油分、水分はハケや布で除去して下さい。
- ・サイディング被着面にムラなく塗布して下さい。
- ・乾燥時間は30分以上として下さい。

シーリング施工手順-② ※後コーキングの場合

③ バックアップ材の装てん



- ・開口部廻り等でバックアップ材を使用する場合は、シーリング目地深さを10mm程度確保して下さい。

※注意点

- ①：開口部のオメガの施工はサイディングの端までとして下さい。
(サッシとセラディーの10mmの隙間にはオメガの材料を埋め込まない)
- ②：オメガ施工後（乾燥後）、最後にコーキングで埋めます。
(オメガの色と近似色のコーキングを使います)

④ 開口部廻りシーリングの充填



- ・シーリング材は**一液ウレタン弾性シーリング材**を使用して下さい。
※メーカー名:オート化学工業
※商品名:オートンサイディングシーラント 又は 同等品
- ・目地幅に合わせたノズルで気泡、打残しがないよう隙間なく隅々まで盛り上げて下さい。
- ・ヘラなどを使い、シーリング材を押え込むようにしてサイディング表面に合わせて平滑にして下さい。
- ・シーリング材が硬化しない間にマスキングテープを棒切れ板などに巻き付けながら剥がして下さい。

⑤ 軒天境目シーリングの充填



- ・軒天材とサイディングの取り合いは付き付け張りとなっているので**三角シーリング**として下さい。
- ・指の腹などを使い、シーリング材を押え込むようにして下さい。
- ・シーリング材が硬化しない間にマスキングテープを棒切れ板などに巻き付けながら剥がして下さい。

オメガ施工手順-⑦

⑫ アクロティーク



アクロティークベース

入数:約110㎡/缶
重量:約20kg/缶

× 1缶 +



アクロティークベースカラーボトル

× 1本

⑬ アクロティーク施工- 1



※アクロチョイスにカラーボトルを入れずにセミスムーズ用骨材を入れ塗り付けした状態

- ・スタイログルー・スタンダードメッシュ施工までは通常オメガ施工と同じになります。
- ・プライマーには**カラーボトルを入れず**にプライマーのみを塗布して下さい。
- ・アクロチョイスには**カラーボトルを入れず**にセミスムーズ用骨材を入れて下さい。
- ・マリブ16、サークルテックコース用骨材は使用しないで下さい。
※骨材が大きいとスポンジで擦れずボカシが作れない為です。
- ・アクロティークベース**1缶**に対し
アクロティークカラーボトル**1本**を入れよく攪拌する

⑭ アクロティーク施工- 2



- ・アクロティークベースとアクロティークカラーボトルを混ぜたものを、市販の霧吹き容器に入れ替えて下さい。
- ・セミスムーズ面へ噴霧しスポンジ等でスジを消し、全体をぼかすように伸ばして下さい。
- ・一度に濃く塗らず、薄いものを塗り重ねて徐々に濃く仕上げして下さい。
- ・アクロティーク材が乾燥していない間に雨水等、水がかかると数時間後に色垂れを起こすことがありますので
注意して下さい!

LTコート施工手順

①作業前の確認事項・注意事項



- ・気温4℃以下での作業はしないで下さい。
- ・雨天の施工はしないで下さい。
- ・オメガ仕上げ材が完全に乾燥していることを確認して下さい。
- ・ガラス面の養生を確実にして下さい。
(ガラス表面に付着すると乱反射することがあります)
- ・金属面の養生を確実にしてください。
(金属表面に付着すると艶がなくなることがあります)
- ・LTコート容器に貼っている注意事項を必ず一読して下さい。
- ・オメガブラック系に塗布はお勧めできません。

②LTコートの種類・保管条件



【LTコート】

- ・LTX-1 (防カビ・防汚特殊コート 乳白色)
- ・内容量：4ℓ/缶 (施工可能面積 48㎡相当)

【保管上の注意点】

- ・保管場所は雨が当たらない冷暗所として下さい。
- ・保管時気温4℃以下または20℃以上として下さい。
- ・納品後1ヶ月以内に使用して下さい。
- ・使用済み材料と新しい材料の混合はしないで下さい。

③施工要領



- ・塗布面に汚れのある場合はきれいに取り除いて下さい。
- ・サッシ及びガラス面の養生をして下さい。
- ・水切り、セルフド等の養生をして下さい。
- ・外壁と軒天の境目の養生をして下さい。
- ・狭い部分は刷毛にて塗って下さい。
- ・マリブ16・セミスムース・アクロティーク仕上げの場合
平らな大きな面はローラー1回薄塗りとして下さい。

※ローラーは固く絞り、液垂れのないよう薄く塗って下さい。

- ・サークルテックコース仕上げの場合、平らな大きな面は
吹付け用ガンにて薄塗りとして下さい。
- ・塗布完了後、乾燥を確認し養生材を剥がして下さい。